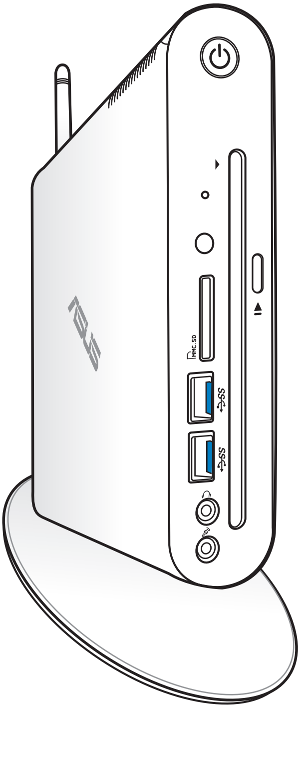
日本語

EB1505

ユーザーマニュアル



日本語

J7745
初版 / 2012年12月

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに 変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2012 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。
http://support.asus.com

もくじ

このマニュアルについて.......5
このマニュアルの表記について.......6
表記 6
安全上のご注意.......7
本機をセットアップする.......7
使用中のお手入れ.......7
パッケージの内容.......9

Chapter 1: ハードウェア

製品の概要.......10
前面 10
背面 12
リモコン(特定モデルのみ) 14

Chapter 2: PCのセットアップ

PCを設置する.......18
スタンドに取り付ける.......18
PCを設置する.......19
PCをディスプレイに取り付ける.......20
PCを使用する.......22
外付けディスプレイを接続する.......22
USBデバイスを接続する.......22
無線アンテナの接続.......23
PCをONにする.......24
HDMI デバイスでオーディオ出力構成を行う.......25
スロットイン式DVDドライブを使用する.......27

Chapter 3: Windows 8環境で使用する

システム要件.......28
初めて使用する.......29
Windows 8 ロック画面.......29
Windows® UI.......30
スタート画面.......30
Windows®アプリ.......31
Windows®アプリと一緒に使用する.......34
アプリの起動.......34
アプリのカスタマイズ.......34

日本語

もくじ

アプリを閉じる 35
アプリ画面にアクセスする 35
チャームバー 36
スナップ機能 38
その他キーボードのショートカット 39
PCをOFFにする 41
PCをスリープ状態にする 41
UEFI BIOS Utilityを起動する 41
UEFI BIOSを起動する 42

Chapter 4: インターネットへの接続
Windows 8環境での接続 43
Wi-Fi接続 43
有線接続 45
動的IP（ダイナミックIP）ネットワーク接続の設定 45
静的IP（スタティックIP）ネットワーク接続の設定 48

Chapter 5: システムをリカバリーする
Windows8でのリカバリーオプション 49
PCのリセット 49
システムをリカバリーする 49
PCのリフレッシュ 49
PCのリセット 50
システムイメージファイルからのリカバリー 51

Chapter 6: 付録
ご注意 54
ASUSコンタクトインフォメーション 61

このマニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1：ハードウェアのセットアップ
本機のハードウェアコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2：PCを使用する
本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3：Windows® 8環境で使用する
Windows®8の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4：インターネットへの接続
有線/Wi-Fi接続への接続方法についての説明が記載されています。

Chapter 5：システムをリカバリーする
リカバリーオプションについての説明が記載されています。

Chapter 6：付録
製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注：ユーザーマニュアルは本機の次のフォルダー内に保存されています。

- **64bit Windows® 8 OS：**Program Files(X86)/ASUS/eManual

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要：作業を完了するために従わなければならない指示です。

注：作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告：作業を完了する際、人体への危険を避けるため、また本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない指示です。

表記

太字	選択するメニューや項目を表示します。
斜字	文字やフレーズを強調するときに使用します。

安全上のご注意

Eee Box PC（以降「本機」とも記載）は IT の最新安全規格を満たすよう設計されており、それら基準を満たすことが実証されていますが、より安全にお使いいただくため、ご使用の前には以下の安全に関する注意事項をよくお読みください。

本機をセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示を全て読み、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 本機は安定した場所に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 動作可能な温度環境は周囲温度 0℃～35℃です。
- 延長コードを使用する際は、接続した全てのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

使用中のお手入れ

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- 本機に液体がかからないようにしてください。
- 本機の電源がOFFのときも、微量の電流が流れています。本機のお手入れをする際は、必ず電源ケーブル、モデムケーブル、ネットワークケーブル等のケーブルを全てコンセントから抜いてください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、公認の販売代理店あるいは弊社コールセンターにご相談ください。
  - 電源コード/プラグが破損している。
  - 本機内部に液体が入った。
  - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
  - 本機が落下した、またはキャビネットが破損した。
  - 本機のパフォーマンスに異変が生じた。

日本語

日本語

リチウムバッテリーに付いての警告

RTC(Real Time Clock)バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。RTCバッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相当するものをご使用ください。RTCバッテリー廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。RTCバッテリーの交換が必要な場合、弊社コールセンターにお問い合わせください。バッテリーの廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

レーザー製品

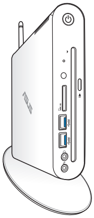
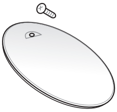
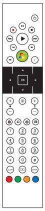
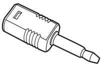
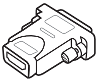
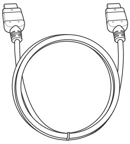
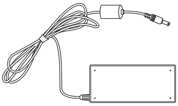
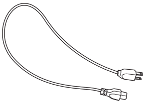
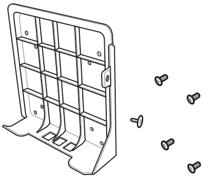
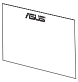
クラス 1 レーザー製品

分解禁止

お客様が本機を分解した場合、保証の対象外となります。

禁止：本機を通常ゴミとして廃棄しないでください。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。製品のリサイクルについては、弊社コールセンターにお問い合わせください。

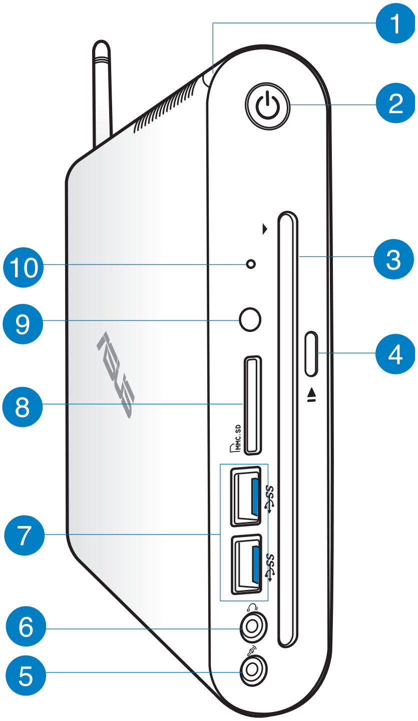
パッケージの内容

		
EB1505	スタンドとスタンド用ネジ	リモコン（特定モデルのみ）
		
ミニジャック - S/PDIFアダプター	アンテナ	HDMI-DVI アダプター（特定モデルのみ）
		
HDMI ケーブル（特定モデルのみ）	ACアダプター	電源コード
		
VESAマウント、専用ネジ	保証書	クイックスタートガイド

Chapter 1: ハードウェア

製品の概要

前面



1 **ハードディスクドライブ (HDD) LED**
このLEDはハードディスクでデータのやり取りが行われると点滅します。

2 **電源スイッチ**
本機の電源ON/OFFを切り替えます。

3

スロットイン式光学ドライブ

DVD(読み込み＋書き込み)をサポートしています。

注：Blu-ray(読み込み)は特定モデルでのみサポートしています。

4

イジェクトボタン

ドライブからディスクを取り出すときに使用します。

5

マイクジャック

マイクを接続します。ビデオ会議や音声ナレーション、録音等にご使用ください。

6

ヘッドホン/オーディオ出力ジャック

このジャックのサイズは 3.5mm で、システムオーディオ出力をアンプやヘッドホンに出力します。

7

USB 3.0ポート

USBポートの最大データ転送率は5Gbit/sでUSB2.0にも下位互換性があります。

8

メモリーカードスロット

このスロットにはメモリーカードリーダーが内蔵されており、デジタルカメラやMP3 プレーヤー、携帯電話、PDA等で使用するMMC/SD/SDHC/SDXC等のメモリーカードを読み込みます。

9

内蔵IR（赤外線）レシーバー

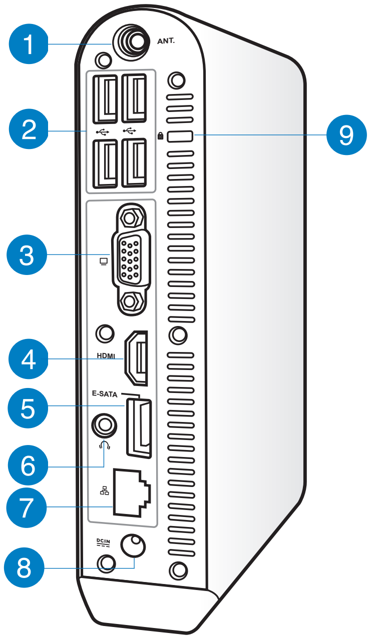
本機の内蔵型赤外線レシーバーはリモコンからの信号を受信します。

10

BIOSキー

電源投入直後、システムを起動する前にクリップ等の先の尖った物でこのキーを押すと、BIOSを起動することができます。

背面



1 無線アンテナジャック

付属の無線アンテナを接続します。

2 USB 2.0ポート

USB 対応のキーボードやマウス、カメラ、ハードディスク等のデバイスを接続することができます。このポートを使用すれば、複数のデバイスを 1 つのシステムで同時に利用することができます。

3 ディスプレイ（モニター）出力

D-Sub 15ピンモニターポートは、モニターやプロジェクターなどの標準VGA互換デバイスをサポートし、それらに画面を表示することが可能です。

4 HDMI HDMI ポート

液晶TVやディスプレイやフルHDデバイスをサポートしています。より高画質で大きな画面での映像が楽しめます。

5 eSATA eSATAポート

eSATAとは、本来コンピューター内蔵機器向けに設計されたSerial ATAインターフェースを、外付け機器向けに拡張したものです。理論値でUSB 2.0と比較して約5倍、IEEE1394（IEEE1394a）と比較して約6倍の高速な転送速度を実現。ホットプラグ機能にも対応しており、最大長2メートルのシールドケーブルに対応しています。

6 ヘッドホン/オーディオ出力ジャック

このジャックのサイズは 3.5mm で、システムオーディオ出力をアンプやヘッドホンに出力します。

7 LANポート

このポートは 8 ピンRJ-45LANポートでRJ45 LANケーブルをサポートしています。

8 DCIN 電源入力（DC19V）

付属のACアダプターを接続し、本機に電源を供給します。付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因となります。

警告：ACアダプターは、使用中高温となることがあります。アダプターを物で覆ったり、また身体に密着させて使用しないでください。

---

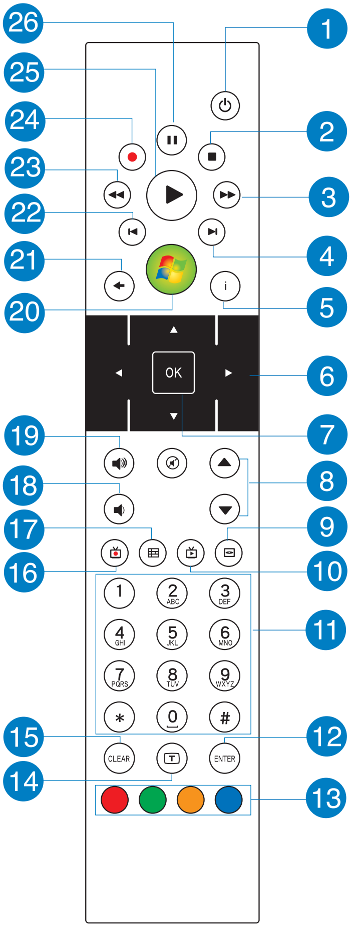
9 Kensington® ロックポート

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

リモコン（特定モデルのみ）

リモコンを使用し、Windows® MCE（Media Center）の起動と、ASUSDVDの操作が可能です。

注：リモコンのタイプとMCEの機能はモデルにより異なります。



日本語

1 **電源ON/OFF**
本機のON/OFFを切り替えます。

2 **停止**
再生中に押すと再生を停止します。

3 **早送り**
再生中に押すと早送りを行います。

4 **「次へ」**
次のトラックに進みます。

5 **情報**
Windows MCEまたは他のメニューオプションのプログラムの情報を表示します。

6 **操作キー**
メニューオプションをスクロール表示します。

7 **「OK」**
選択した内容を決定します。

8 **チャンネル+/ー**
TVのチャンネルを切り替えます。*

注：*TV機能は特定エリアでのみ利用可能です。

9 **音楽**
Windows®MCEの「Music」メニューを開きます。

10 **ビデオ**
Windows®MCEの「Videos」メニューを開きます。

11 **数字ボタン**
数字の入力、またはチャンネルを選択します。*

注：*TV機能は特定エリアでのみ利用可能です。

日本語

13 **カラーボタン**

Windows MCEまたはテレテキストモードでのメニューオプションを表示します。

注：ボタンの機能や動作はご利用の地域により異なります。

14 **データ放送**

テレテキストモードのON/OFFを切り替えます。

注：TV機能は特定エリアでのみ利用可能です。

15 **クリア**

入力データを消去します。

16 **TV**

Windows® MCEのTVメニューを開きます。

17 **フォト**

Windows® MCEの「Photos」メニューを開きます。

18 **音量ボタン(-)**

音量を下げます。

19 **音量ボタン(+)**

音量を上げます。

20 **Windows® MCE**

Windows® MCEを起動します*

注：*この機能を使用するにはWindows Mediaパックのご購入が別途必要となります。

21 **戻る**

メニューを閉じたり、前のページに戻ります。

22 **前のトラック**
１つ前のトラックに戻ります。

23 **巻き戻し**
メディアファイルを巻き戻します。

24 **録画**
TV番組を録画します。*

注：*TV機能は特定エリアでのみ利用可能です。

25 **再生**
メディアファイルを再生します。

26 **一時停止**
再生中に押すと一時停止します。

日本語

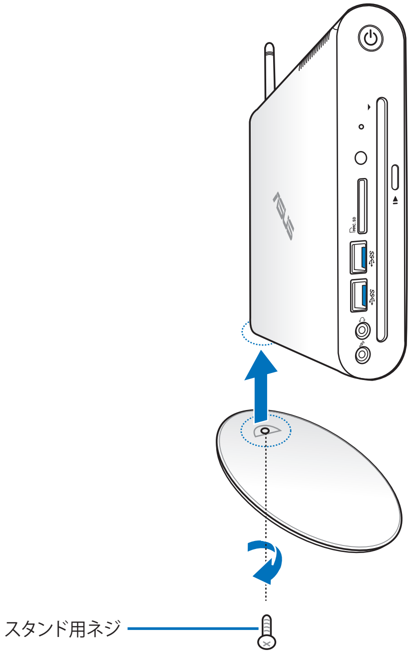
Chapter 2: PCのセットアップ

PCを設置する

スタンドに取り付ける

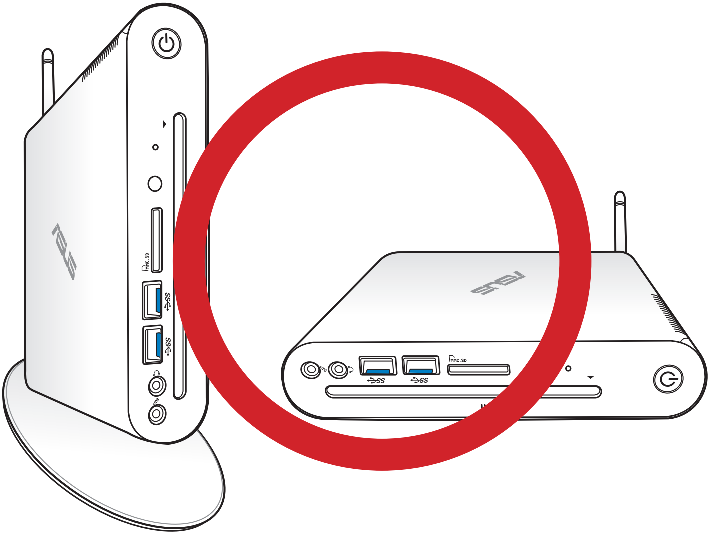
手順

1. 本機の底部にあるネジ穴の位置を確認します。
2. スタンドのネジ穴とPCのネジ穴の位置を合わせ、スタンド用ネジで固定します。



注：スタンドを使用せずに、横置きでもご使用いただけます。

PCを設置する



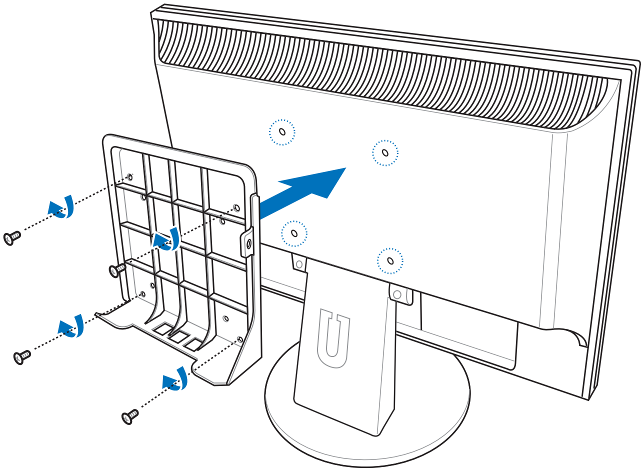
日本語

PCをディスプレイに取り付ける

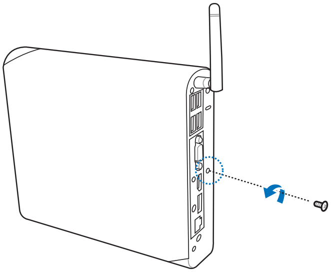
手順

1. VESAマウントをディスプレイの背面に取り付け、VESAマウントキットに付属の４本のネジで固定します。

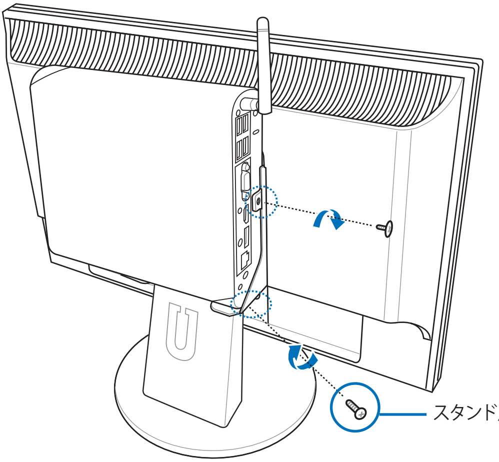
注：VESAマウントを使用するには、お使いのディスプレイがVESA75/VESA100規格準拠である必要があります。



2.	本機のバックパネル右中央のネジを取り外します。ネジは紛失しないよう、大切に保管してください。



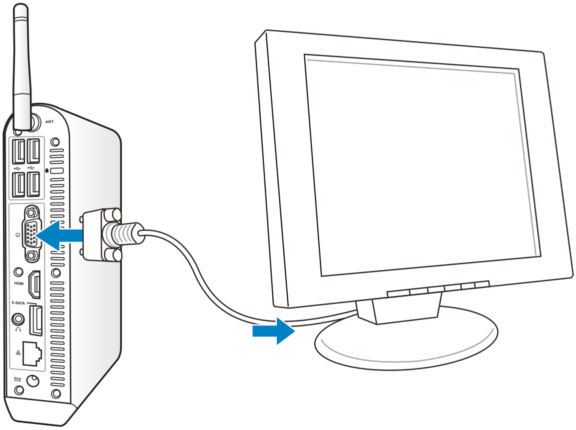
3.	本機をVESAマウントに取り付け、付属のネジで固定します。スタンド用ネジ（スタンドを本機に固定するネジと同じネジ）を下のネジ穴に挿入します。平頭ねじは右側のネジ穴に挿入します。



PCを使用する

外付けディスプレイを接続する

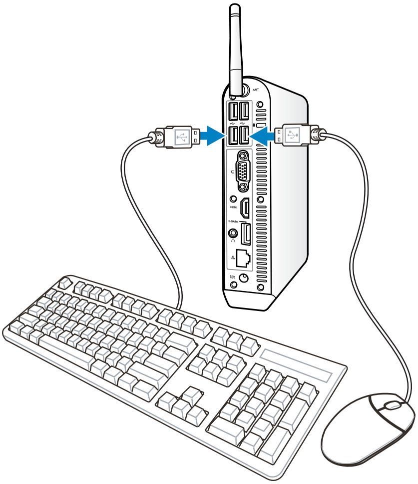
HDMI/VGAケーブルの一端を外付けディスプレイに接続し、もう一端を本機のHDMI/VGAポートに接続します。



USBデバイスを接続する

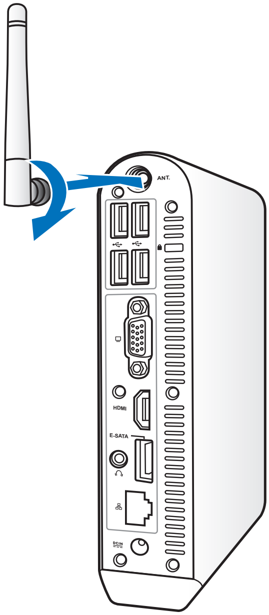
無線/有線キーボード、マウス、プリンター等のUSBデバイスを本機のUSBポートに接続します。

注：キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。



無線アンテナの接続

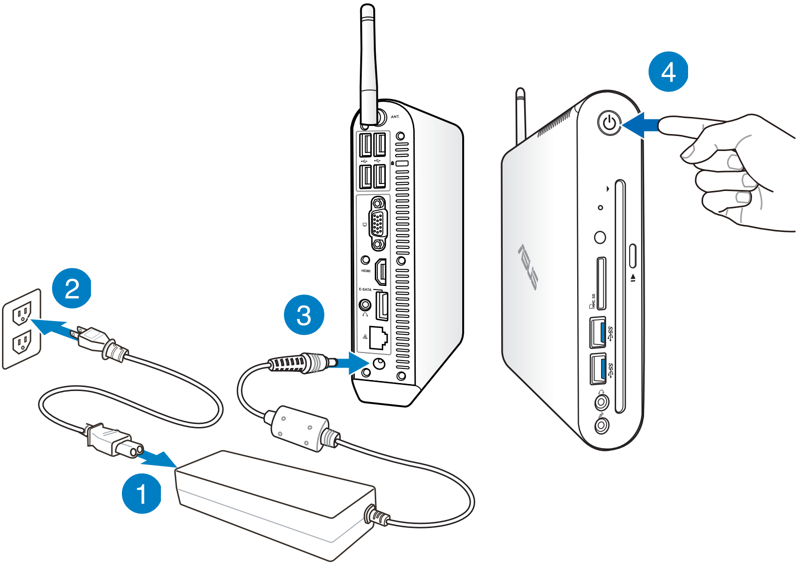
無線信号を受信するため、付属の無線アンテナを本機に接続してください。無線アンテナが上を向くように(直角)、取り付けてください。



日本語

日本語

PCをONにする



注：

- 本機を使用しないときは、電源アダプターを抜くか、AC電源をOFFにしてください。電力消費を抑えることができます。
- Windows® のコントロールパネルで電源管理設定を行うことにより、パフォーマンスを維持しながら本機の消費電力を抑えることができます。

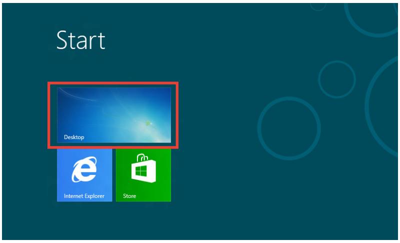
HDMI デバイスでオーディオ出力構成を行う

HDテレビをオーディオ出力デバイスとして利用する場合は、テレビをホームシアターPCに接続し、下の手順でオーディオ設定を行います。

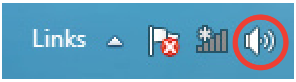
手順

1. スタート画面から「**デスクトップ**」をクリックし、デスクトップモードを起動します。

注：詳細はセクション「**Windows 8環境で使用する**」の「**スタート画面**」をご参照ください。

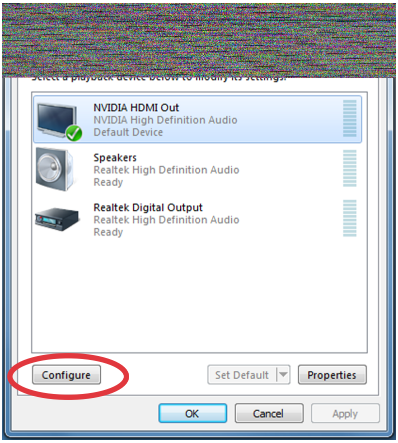


2. タスクトレイの音量ミキサーアイコンを右クリックし、「**再生デバイス**」をクリックします。

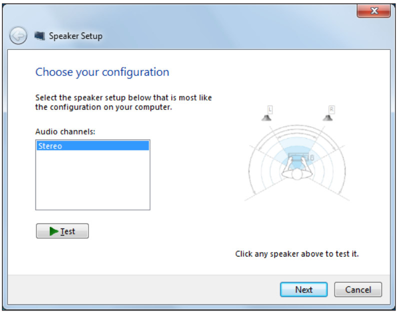


3. 再生タブの「**デジタルオーディオ(HDMI)**」を選択します。

4. 「**構成**」をクリックします。「**スピーカーのセットアップ**」ウインドウが表示されます。

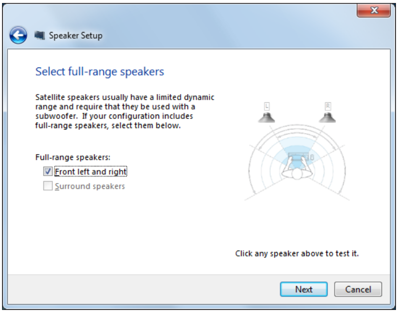


5. 「**ステレオ**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



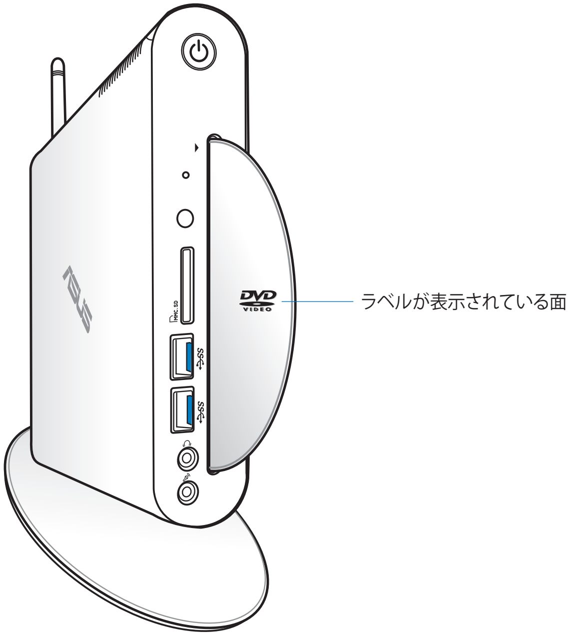
6. 「**フロント左とフロント右**」にチェックを入れ、「**次へ**」をクリックします。

7. 「**完了**」をクリックし、スピーカーのセットアップは終了です。



スロットイン式DVDドライブを使用する

レーベル面を本体向かって左側にした状態でCD/DVDメディアをスロットイン式DVD±RWドライブに挿入します。CD/DVDメディアのレーベル面を逆側（右側）にしてドライブに挿入すると、ディスクのデータ面が傷ついたりドライブ故障の原因となりますのでご注意ください。



日本語

日本語

Chapter 3: Windows 8環境で使用する

注：OSの種類は国や地域により異なります。

システム要件

プロセッサー	1GHz以上
RAM	1GB (32bit) または2 GB (64bit)
ハードディスク容量	16 GB (32bit) または20 GB (64bit)
ビデオカード	Microsoft DirectX9 グラフィックスデバイス（WDDMドライバー）
画面解像度	1024 ×768（Windows® アプリ用）
	1366 ×768（スナップ機能用）

注：システム要件に関する更新についての詳細はMicrosoft社のオフィシャルサイトでご確認ください。
http://www.windows.microsoft.com/en-us/windows-8/faq

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows®8の基本設定を行うための設定画面が表示されます。

手順

1. コンピューターの電源をONにします。暫くすると設定画面が表示されます。
2. ライセンス条項を読みます。「**Windowsを使うためのライセンス条項に同意します**」を選択し、「**同意する**」をクリックします。
3. 画面上の指示に従って基本設定を行います。
    - パーソナル設定
    - 設定
4. 基本設定が完了すると、Windows®8のビデオチュートリアルが表示されます。チュートリアルではWindows®の機能を学ぶことができます。
5. ユーザーアカウントにサインすると、スタート画面が表示されます。

Windows 8 ロック画面

Windows®8 を起動すると、Windows®8 ロック画面が表示されます。ロック画面をタップする、またはキーボードの任意キーを押して、次に進みます。

Windows® UI

Windows 8のWindows® ユーザーインターフェース(UI)はタイル表示のユーザーインターフェースです。次の各機能を利用することができます。

スタート画面

Windows®8にサインイン後に表示され、使用したいプログラムを一括表示することができます。

Windows®アプリ

これらアプリはスタート画面にピン留めされており、タイル形式で表示されます。

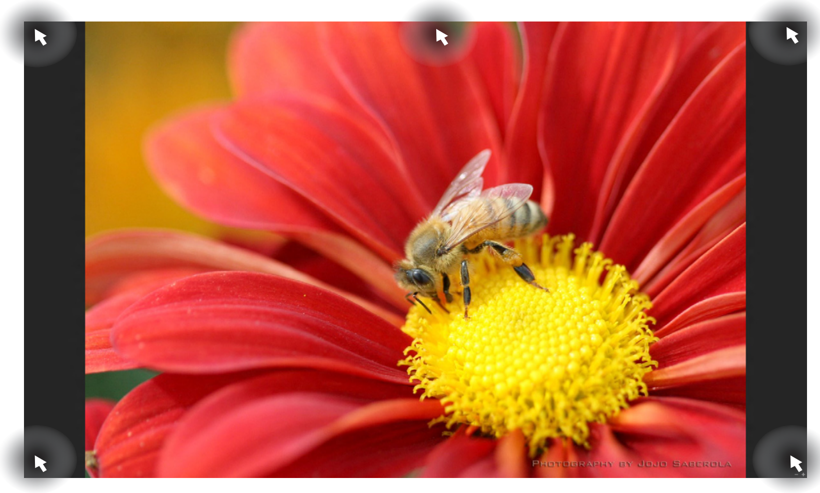
重要：Windows®アプリの利用には画面解像度1024×768ピクセル以上が必要です。

注：特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。

ホットスポット

プログラムの起動、PCの各種設定を行います。各機能はマウスで有効にすることができます。

起動済みアプリのホットスポット



日本語

日本語

スタート画面上のホットスポット

注：ホットスポットの各機能は次項をご参照ください。

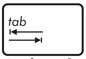
ホットスポット	操作
左上	マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。
	複数のアプリを起動した状態で、下方向にスライドすると、起動しているアプリが表示されます。
左下	**起動中のアプリから：** マウスのポインターをこの位置まで移動し、スタート画面のサムネイルをクリックすると、スタート画面に戻ります。 **注：**キーボード上のWindows®キー を押してもスタート画面に戻ります。 **スタート画面から：** マウスのポインターをこの位置まで移動し、起動中アプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。
上面	マウスのポインターを手のアイコンに切り替わるまで移動します。アプリをドラッグ＆ドロップし、別の場所へ移動することができます。 **注：**このホットスポット機能は起動中のアプリ、またはスナップ機能を使用する場合にのみ動作します。詳細は「Windows®アプリと一緒に使用する」の「スナップ機能」をご参照ください。
右上、右下	右上、右下マウスのポインターをこの位置まで移動すると、チャームバーが起動します。

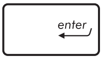
日本語

Windows®アプリと一緒に使用する

PCのキーボードやマウスでアプリの起動とカスタマイズを行います。

アプリの起動

- アプリの上にマウスのポインターを当て、左クリックして起動します。
- 

を2回押し、カーソルキーでアプリを選択します。

を押すと、選択したアプリが起動します。

アプリのカスタマイズ

スタート画面上のアプリの移動、サイズ変更、ピンの解除は次の手順で行います。

アプリの移動

アプリを移動するには、アプリ上をタップしたまま移動する場所までドラッグします。

アプリのサイズ変更

アプリのサイズ変更をするには、アプリを右クリックし、

または

をタップします。

アプリのピンの解除

スタート画面のアプリのピンを解除するには、アプリ上で右クリックし、設定メニューを表示し、

をタップします。

アプリを閉じる

起動中のアプリの画面から alt + f4 を押します。

アプリ画面にアクセスする

スタート画面にピン留めされたアプリ以外に、アプリ画面から他のアプリを開くことができます。

アプリ画面を起動する

スタート画面上を右クリック、または Windows + Z を押し、すべてのアプリアイコンをクリックします。

スタート場面にアプリをピン留めする

1. スタート画面にピン留めしたいアプリの上にマウスのポインターを当てます。
2. アプリ上で右クリックし、設定を適用します。
3.

をクリックします。

チャームバー

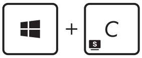
チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリの共有などの操作やPCのカスタマイズ設定へ簡単にアクセスすることができます。

チャームバー

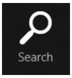
チャームバーの起動

注：チャームバーは起動すると、上の画面のように表示されます。

マウスまたはキーボードでチャームバーを起動します。

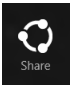
- マウスのポインターを画面右上または右下に移動します。
- を押します。

チャームバーのコンテンツ



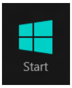
検索

PC内のファイルやアプリ、プログラムを検索します。



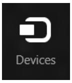
共有

ソーシャルネットワークサイトやメールなどを使用し、アプリを供給します。



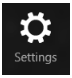
スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。



デバイス

外付けモニターやプリンター等、PCに接続したデバイスに関する操作を行います。



設定

PCの各種設定を行います。

スナップ機能

ノートパソコン上で2つのアプリケーションを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。

重要：スナップ機能の利用には、1366×768ピクセル以上の解像度が必要です。

スナップバー

スナップを有効にする

本機のマウスまたはキーボードでスナップ画面を起動します。

マウスの使用

1. スナップするアプリを起動します。
2. マウスのポインターを画面の上側に移動します。
3. ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ＆ドロップします。
4. 他のアプリを起動します。

<u>キーボードの使用</u>

1. スナップするアプリを起動します。
2. [Windows] + [>.] を押します。
3. アプリを切り替えるには、[Windows] + [J] を押します。

その他キーボードのショートカット

キーボードの各ショートカットを使用し、アプリの起動やWindows®の操作を行うことができます。

[Windows]	スタート画面と最後に使用した起動中アプリを切り替えます
[Windows] + [D]	デスクトップを起動します
[Windows] + [E]	デスクトップモードでコンピューターウィンドウを起動します
[Windows] + [F]	ファイル検索画面を開きます
[Windows] + [H]	共有画面を開きます
[Windows] + [I]	設定画面を開きます

Windows + L	ロック画面を有効にします
Windows + M	Internet Explorerウィンドウを最小化します
Windows + P	「セカンドスクリーン」画面を開きます
Windows + Q	アプリ検索画面を開きます
Windows + R	実行ウィンドウを開きます
Windows + U	「Ease of Access Center」を開きます
Windows + W	設定検索画面を開きます
Windows + X	Windows®ツールのメニューボックスを開きます
Windows + (+ =)	虫眼鏡アイコンを表示し、画面をズームイン表示します
Windows + (– -)	画面をズームアウト表示します
Windows + enter	ナレーター設定を開きます
Windows + prt sc sysrq	プリントスクリーン機能を有効にします

PCをOFFにする

次のいずれかの手順でPCの電源をOFFにします。

- チャームバーをタップし、「**シャットダウン**」をタップします。
- ログイン画面から「**シャットダウン**」をタップします。
- PCからの応答がない場合は、電源ボタンを約4秒間押し続け、強制終了を行います。

注：強制終了を行うと、アプリケーションで保存していないデータは失われる可能性があります。

PCをスリープ状態にする

電源ボタンを1度押すと、スリープ状態に移行します。

UEFI BIOS Utilityを起動する

UEFI BIOS Utilityはではシステムの起動に必要なハードウェア設定を保存することができます。

UEFI BIOSのデフォルト設定は殆どの環境で最適なパフォーマンスを実現できるよう保存されています。以下の状況以外では、デフォルト設定ままで使用することをお勧めします

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utilityを起動するように指示があった場合。
- UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

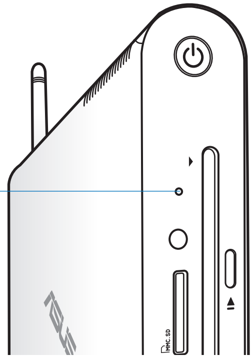
警告：不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

日本語

UEFI BIOSを起動する

本機では次の方法でUEFI BIOSへのアクセスが可能です。

- システムを起動する前にクリップ等の先の尖った物でこのキーを押すと、UEFI BIOSを起動することができます。



- 電源投入後、POST時に<F2>を押します。

注：POST (Power-On Self Test)はシステム起動時に実行されるソフトウェア制御によるシステム自己診断テストです。

Windows® 8の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「**設定**」→「**PC設定の変更**」の順にクリックします。
2. 「**全般**」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。
3. 「PCの起動をカスタマイズする」の下にある「**今すぐ再起動**」をクリックします。
4. 「お待ちください」のメッセージが出た後に「オプションの選択」画面が出現します。
5. 「オプションの選択」で「**トラブルシューティング**」をクリックし、「**詳細オプション**」をクリックします。
6. 「**UEFIファームウェアの設定**」をクリックし、次の画面で「**再起動**」をクリックします。
7. 再起動をする際、画面に表示される<F2>のキー操作なしにUEFI BIOSを開くことができます。

Chapter 4: インターネットへの接続

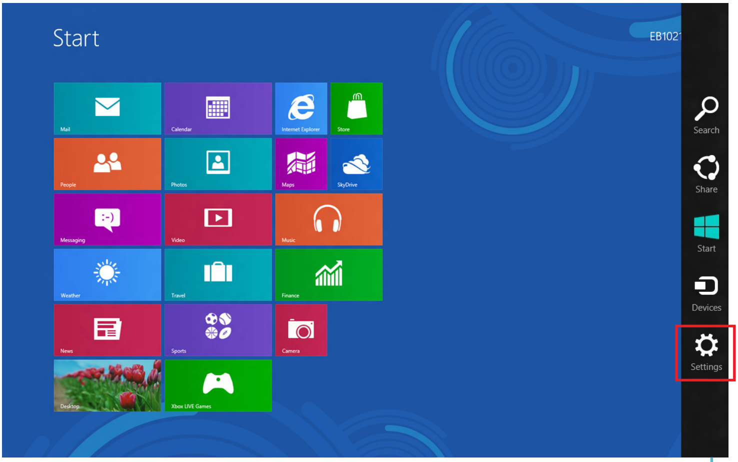
有線/無線/Wi-Fi 接続により、本機または本機からメールボックスへのアクセス、インターネットサーフィン、ソーシャルネットワークサイトのアプリの共有が可能です。

Windows 8環境での接続

Wi-Fi接続

1. スタート画面または任意のアプリからチャームバーを起動します。

注：詳細は、「**Windows® アプリと一緒に使用する**」の「**チャームバー**」をご参照ください。

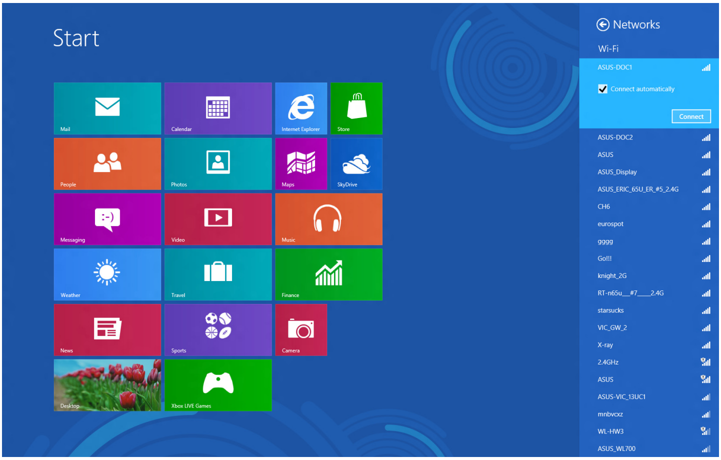


チャームバー

2. チャームバーの「**設定**」を選択し、ネットワークアイコンをクリックします。

3. リストから接続する無線ネットワークを選択します。

4. 「**接続**」をクリックします。

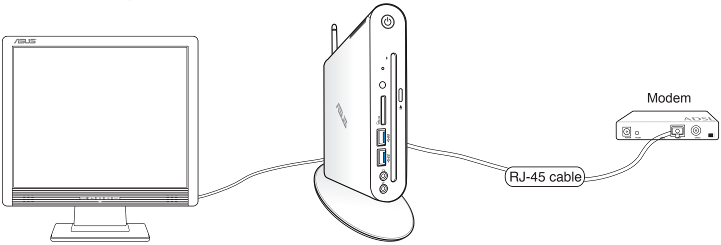


注：セキュリティ設定された無線ネットワークへの接続には、セキュリティキーの入力が必要な場合があります。

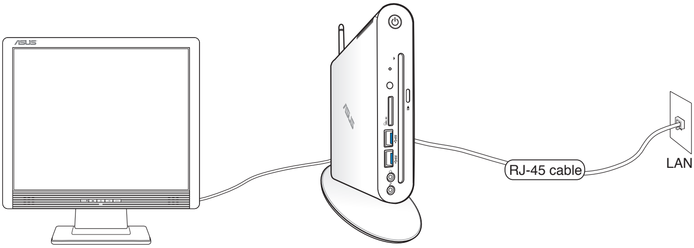
有線接続

1. LANケーブルを使用し、PCをDSL/ケーブルモデムまたはLANに接続します。

DSL/ケーブルモデム



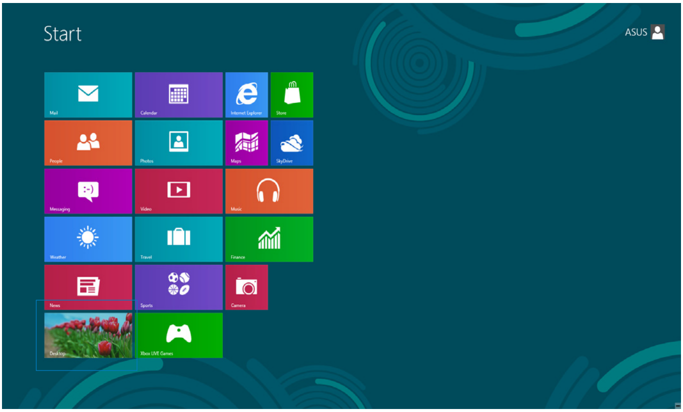
LAN



動的IP(ダイナミックIP)ネットワーク接続の設定

手順

1. スタート画面から「**デスクトップ**」をクリックし、デスクトップモードを起動します。

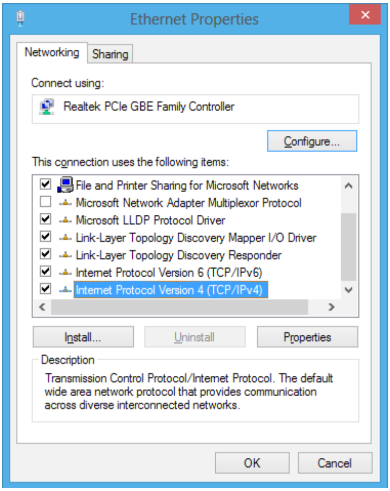


2. タスクバーのネットワークアイコンを右クリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」をクリックします。

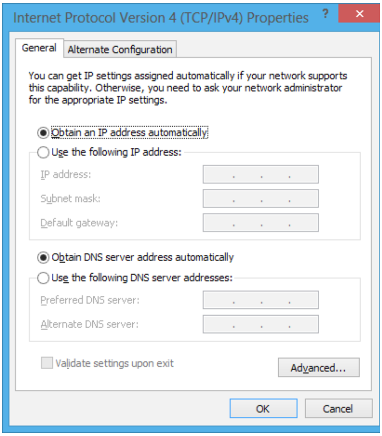
3. ネットワークと共有センター画面で「**アダプターの設定の変更**」をクリックします。

4. ローカルエリア接続を右クリックし、「**プロパティ**」を選択します。

5. 「**インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)**」をクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。

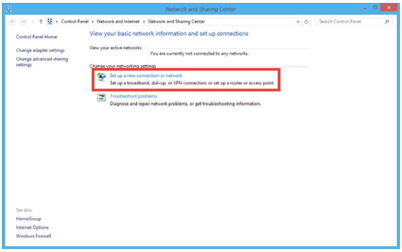


6. 「**IPアドレスを自動的に取得する**」をクリックし、「**OK**」をクリックします。

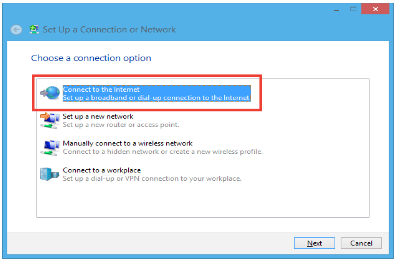


注:PPPoE接続を使用している場合は、次の手順に進みます。

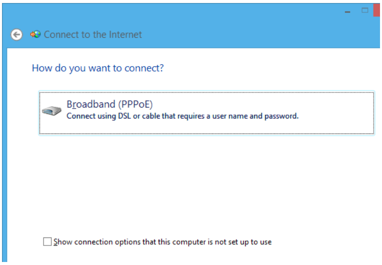
7. 「**ネットワークと共有センター**」に戻り、「**新しい接続またはネットワークのセットアップ**」をタップします。



8. 「**インターネットに接続します**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



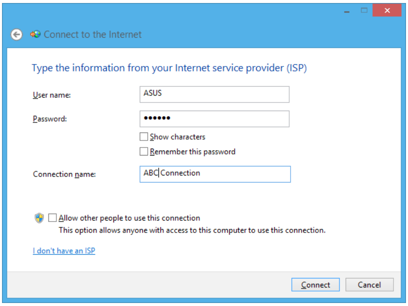
9. 「**ブロードバンド(PPPoP)**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力します。「**接続**」をクリックします。

11. 接続が成功したら、「**閉じる**」をクリックし、設定は完了です。

12. タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、設定した接続をクリックします。



13. ユーザー名とパスワードを入力します。「**接続**」をクリックしてインターネットに接続します。

日本語

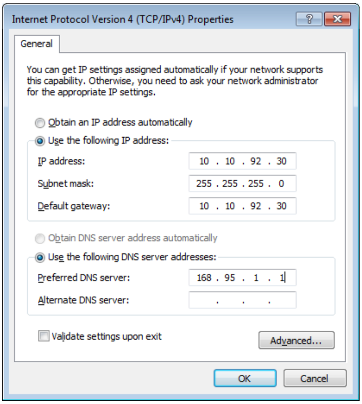
日本語

静的IP（スタティックIP）ネットワーク接続の設定

手順

1. 静的IPを使用する場合も、「**動的IP（ダイナミックIP）ネットワーク接続の設定**」の手順1～4まで同様の設定を行います。

2 「**次のIPアドレスを使う**」を選択します。



3. 「IP アドレス」、「サブネット マスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の欄を入力します。

4. 必要に応じて「優先 DNS サーバー」の欄にアドレスを入力します。

5. 設定が終了したら、「**OK**」をクリックします。

Chapter 5: システムをリカバリーする

Windows8でのリカバリーオプション

PCのリセット

システムをリカバリーする

PCのリフレッシュ

Windows® 8の新たな機能で、PCの動作が不安定なとき等に、お客様のデータや設定を削除せずに短時間でシステムのリフレッシュを試みることができます。

重要:

- 個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
- PCの設定は初期状態に戻ります。
- Windows® ストアーからインストールしたアプリは残ります。
- ディスクまたはWebサイトからインストールしたアプリは削除されます。
- 削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「**設定**」→「**PC設定の変更**」の順にクリックします。
2. 「**全般**」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。
3. 「PCをリフレッシュする」の下にある「**開始する**」をクリックします。
4. 確認画面で「**次へ**」をクリックすると、「お待ちください」の画面が出現します。
5. 「PCをリフレッシュする準備が出来ました」の画面で「**リフレッシュ**」をクリックします。

6. 「再起動しています」の画面の後にPCが再起動されリフレッシュが開始されます。

7. Windows® のセットアップと異なり、アカウント等の設定入力は求められずにリフレッシュが完了します。

PCのリセット

「**PCを初期状態に戻す**」オプションでPCを工場出荷時の設定に戻すことができます。

重要:リカバリーを行うと、データは全て削除されます。実行する前にデータのバックアップを実施してください。

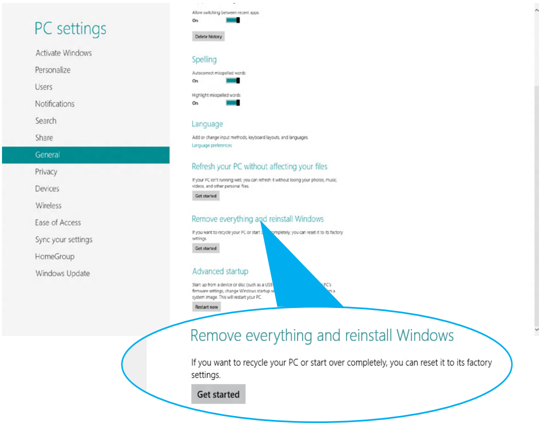
Windows® 8の標準機能でリカバリーを実施する

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「**設定**」→「**PC設定の変更**」の順にクリックします。

2. 「**全般**」をクリックし、画面右側のメニューを一番下までスクロールします。

3. 「すべてを削除してWindows を再インストールする」の下にある「**開始する**」をクリックします。



4. 確認画面で「**次へ**」をクリックすると、「お待ちください」の画面が出現します。

5. 「PCに複数のドライブがあります」の画面で「**Windows がインストールされているドライブのみ**」をクリックします。

6. 「ドライブを完全にクリーンアップしますか?」の画面で「**ファイルの削除のみ行う**」をクリックします。

> 注:「ドライブを完全にクリーンアップをする」を選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

7. 「PCを初期状態に戻す準備ができました」の画面で「**初期状態に戻す**」をクリックします。
8. 「再起動しています」の画面の後にPCが再起動されPCを初期状態に戻す作業が開始されます。
9. Windows® の初回セットアップと同様に「ライセンス条項」の同意とアカウント等の設定入力が必要となります。

<F9>キーを利用してリカバリーを開始する

PCでは起動時に<F9>キーを利用した下記の方法でもリカバリーが開始可能です。

手順

1. 起動ロゴが表示されたら、キーボードの「**F9**」を押します。
2. 「**トラブルシューティング**」をクリックします。
3. 「**PCを初期状態に戻す**」を選択します。
4. 「**次へ**」をクリックします。
5. 「**Windows がインストールされているドライブのみ**」を選択します。
6. 「**ファイルの削除のみ行う**」を選択します。
7. 「**初期状態に戻す**」をクリックします。

システムイメージファイルからのリカバリー

USBリカバリードライブを作成し、リカバリーの際に使用することができます。

USBリカバリードライブの作成

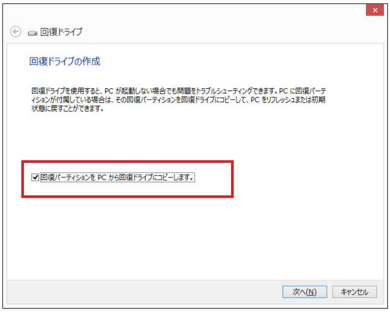
> **注:**USBリカバリードライブの作成は任意となりますが、万が一のシステムトラブルに備え、PCが正常動作している間にUSBリカバリードライブを作成し、保管することをお勧めいたします。

> **警告:**リカバリードライブの作成を実施すると、USBストレージデバイス内のファイルは全て削除されます。リカバリードライブ作成の前に、重要なデータのバックアップを実施してください。

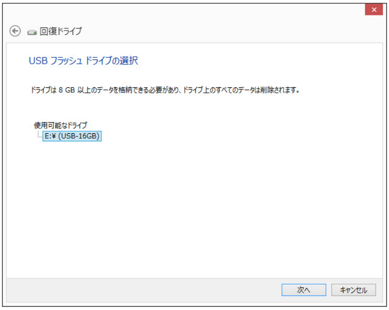
日本語

手順

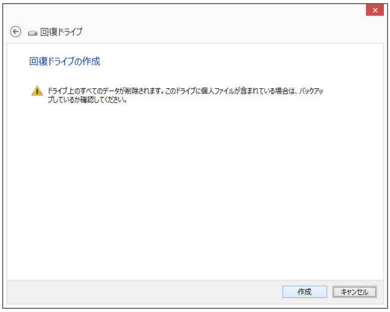
1. すべてのアプリ画面からコントロールパネルを開きます。
2. コントロールパネルのシステムとセキュリティで、「**問題の発見と解決**」をクリックします。
3. 「**回復**」→「**回復ドライブの作成**」の順にクリックし、「**回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。**」にチェックが入っていることを確認します。
4. 「**次へ**」をクリックします。



5. リカバリーファイルを保存するUSBストレージデバイスを選択します。
6. 「**次へ**」をクリックします。



7. 「**作成**」をクリックします。作業完了まで暫く時間がかかります。
8. 作業が完了したら「**完了**」をクリックします。



作成したリカバリードライブを利用してWindows® を工場出荷時の状態に戻す

注：下記の手順は内蔵HDDにパーティションが存在しない場合を想定しています。

日本語

手順

1. PCの電源を切った状態で、一度ACアダプターをPC本体から取り外し、再度ACアダプターをPC本体に接続します。
2. Windows® 8上で作成したリカバリードライブをUSBポートに装着します。
3. PCの電源を投入後、POST中に<F8>キーを押し、ブートデバイスの選択画面を表示します。
4. ブートデバイスの選択画面に表示されているリカバリードライブを選択します。
(この画面はキーボードのみ操作可能)
5. 「キーボードのレイアウトの選択」が表示されたら、ご利用のキーボードタイプを選択します。(日本語キーボードでは「Microsoft IME」を選択)
6. 「**トラブルシューティング**」を選択してクリックします。
7. 「**PCを初期状態に戻す**」を選択してクリックします。
8. 「**次へ**」をクリックします。
9. 「**はい、ドライブのパーティション分割をやり直します**」を選択します。
10. 「**ファイルの削除のみを行う**」を選択します。

注：「ドライブを完全にクリーンアップをする」を選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

11. 「**初期状態に戻す**」をクリックするとリカバリー作業が開始されます。

日本語

Chapter 6:付録

ご注意

REACH（原文）

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at **http://csr.asus.com/english/REACH.htm**

ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components, as well as the packaging materials. Please go to **http://csr.asus.com/english/Takeback.htm** for the detailed recycling information in different regions.

筐体のコーティングについて

重要：感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています（出入力ポート搭載部分を除く）。

Federal Communications Commission Statement（原文）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference toradio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the equipment.

RF exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility according to [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

注:Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01	Ain	02	Aisne	03	Allier
05	Hautes Alpes	08	Ardennes	09	Ariège
11	Aude	12	Aveyron	16	Charente
24	Dordogne	25	Doubs	26	Drôme
32	Gers	36	Indre	37	Indre et Loire
41	Loir et Cher	45	Loiret	50	Manche
55	Meuse	58	Nièvre	59	Nord
60	Oise	61	Orne	63	Puy du Dôme
64	Pyrénées Atlantique	66	Pyrénées Orientales	67	Bas Rhin
70	Haute Saône	71	Saône et Loire	75	Paris
82	Tarn et Garonne	84	Vaucluse	88	Vosges
89	Yonne	90	Territoire de Belfort	94	Val de Marne

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

注：Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

CE Mark Warning

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

ENERGY STAR complied product

ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 15 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard.

Please visit **http://www.energy.gov/powermanagement** for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit **http://www.energystar.gov** for detail information on the ENERGY STAR joint program.

注：Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based products.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950：2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報は巻末の表、またはASUSのサイト（http://green.asus.com/english/）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

EC Declaration of Conformity

Inspiring Innovation • Persistent Perfection

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTek COMPUTER INC.
Address, City:	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**EeeBox PC**
Model name :	**EeeBox EB1021, EB1020**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒**2004/108/EC-EMC Directive**

☒ EN 55022:2006+A1:2007	☒ EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
☒ EN 61000-3-2:2006	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007

☒**1999/5/EC-R &TTE Directive**

☐ EN 300 328 V1.7.1(2006-05)	☒ EN 301 489-1 V1.8.1(2008-04)
☐ EN 300 440-1 V1.4.1(2008-05)	☐ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☐ EN 300 440-2 V1.2.1(2008-03)	☐ EN 301 489-4 V1.3.1(2002-08)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☐ EN 301 908-1 V3.2.1(2007-05)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 908-2 V3.2.1(2007-05)	☒ EN 301 489-17 V1.3.2(2008-04)
☐ EN 301 893 V1.4.1(2005-03)	☐ EN 301 489-24 V1.4.1(2007-09)
☐ EN 50360:2001	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 50371:2002	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 62311:2008	☐ EN 301 357-2 V1.3.1(2006-05)
☐ EN 50385:2002	

☒**2006/95/EC-LVD Directive**

☐ EN 60950-1:2001+A11:2004	☐ EN60065:2002+A1:2006
☐ EN 60950-1:2006	☒ EN 60950-1:2006+A11:2009

☒**2009/125/EC-ErP Directive**

Regulation (EC) No. 1275/2008	Regulation (EC) No. 278/2009
☒ EN 62301:2005	☒ EN 62301:2005
Regulation (EC) No. 642/2009	
☐ EN 62301:2005	

☒**CE marking**

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Year to begin affixing CE marking:2011

Signature : ___________

日本語

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所:	15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話:	+886-2-2894-3447
ファックス:	+886-2-2890-7798
電子メール:	info@asus.com.tw
Webサイト:	www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話:	+86-21-38429911
オンラインサポート:	support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL（アメリカ）

住所:	800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話:	+1-812-282-3777
ファックス:	+1-510-608-4555
Webサイト:	usa.asus.com

テクニカルサポート

電話:	+1-812-282-2787
サポートファックス:	+1-812-284-0883
オンラインサポート:	support.asus.com

ASUS コールセンター（日本）

電話: 0800-123-2787
※携帯電話やPHSなど、サポート受付電話番号をご利用できない場合
047-390-5630 （通話料お客様負担）

ファックス:	047-390-5630
Webサイト:	http://www.asus.co.jp/
オンラインサポート:	http://vip.asus.com/eservice/techserv.aspx

Manufacturer	ASUSTeK Computer Inc.	
	Tel:	+886-2-2894-3447
	Address:	4F, No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C
Authorised representative in Europe	ASUSTeK Computer GmbH	
	Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY